

- ・標準原価計算の考え方にに基づいた、簡単な原価計算ツールです  
⇒製品1個当たりの標準的な「原価（材料費、外注費、加工費）」×「生産数量」により、売上原価、利益を計算します。
- ・製品別の使用材料、部品の種類が5点以内の製品の原価計算に向いています
- ・本ツールを使用するためには、労務費、機械経費、製造経費のレート計算が必要となります  
⇒レート計算は、最低でも年1回は行うことをお勧めします（決算確定後）
- ・本ツールの売上原価、利益は理論値ですので、実際原価計算を行った場合の売上原価、利益とは異なります。  
⇒原価表の合計金額と、決算書や月次試算表の「製造原価報告書」の金額との誤差がどの程度発生しているかを確認し、誤差が大きい場合には、製品1個当たりの標準的な材料費・作業工数の設定を見直すことをお勧めします

## ●基本メニュー

- ・製品別の標準原価で原価計算を行う場合に使用する、基本的なメニューです

シート名	主なデータ項目	内容
決算情報シート	・製造原価 ・販売費及び一般管理費	決算書・月次試算表のうち、損益計算書・製造原価報告書の金額を登録します ※会計ソフトからExcelにエクスポートした決算書データの貼付を想定
レート表	・労務費レート ・機械経費レート ・製造経費レート ・販売費及び一般管理費レート	・労務費、機械経費・製造経費の1時間当たり又は1分当たりのレートを計算します ・製造原価を配賦基準として、販売費及び一般管理費のレート（%）を計算します ※1：直接作業工数の合計及び機械稼働時間の合計の設定が必要 ※2：コスト情報は、「決算情報シート」を参照
製品単価マスター	・製品コード、製品名 ・1製品当たりの販売価格、製造原価 ・仕掛品の進捗率	製品1個当たりの販売価格・製造原価・仕掛品の進捗率を登録します ※1：製造原価の計算に必要な情報（すべて1製品当りの数値） ⇒標準材料数量、材料価格、外注費、標準作業工数、標準機械工数 ※2：仕掛品の進捗率は、月末の仕掛高の計算に使用
生産数量表	・製品別の当月生産数量 ・製品別の累計生産数量 ・製品別の当月末在庫数量 ・製品別の当月末仕掛数量	・各月の製品別の生産数量を登録します ※各月の製品別の生産を合計し、累計の生産数量を計算する ・各月の製品別の月末在庫数量を登録します ・各月の製品別の仕掛高を登録します
原価表（当月）	・売上高（当月） ・製造原価（当月） ・売上総利益（当月） ・販売費及び一般管理費（当月） ・営業利益（当月） ・仕掛高（当月末）	・各月の製品別の販売数量×製品単価マスターの販売価格、製造原価に基づき、売上高・売上原価・売上総利益を計算します ・製品別の製品在庫数量×製品単価マスターの製造原価に基づき、製品在庫高を計算します ・製品別の仕掛数量×進捗率×製品単価マスターの製造原価に基づき、仕掛品在庫高を計算します ・製品別の製造原価×販売管理費レートにより、製品別の販売費及び一般管理費を計算します ・製品別の売上総利益、営業利益を計算します
原価表（累計）	・売上高（累計） ・製造原価（累計） ・売上総利益（累計） ・販売費及び一般管理費（累計） ・営業利益（累計） ・仕掛高（累計）	・当期の製品別の累計販売数量×製品単価マスターの販売価格、製造原価に基づき、売上高・売上原価・売上総利益を計算します ・製品別の製品在庫数量×製品単価マスターの製造原価に基づき、製品在庫高を計算します ・製品別の仕掛数量×進捗率×製品単価マスターの製造原価に基づき、仕掛品在庫高を計算します ・製品別の製造原価×販売管理費レートにより、製品別の販売費及び一般管理費を計算します ・製品別の売上総利益、営業利益を計算します

## ◎各シート間のデータの流れ

